

マノールPコン補修用モルタル Cタイプ

無収縮 ・ 強接着 ・ 防水性

高温環境に対応した「Cタイプ」が新登場!!

従来品と同等の無収縮性と防水性を有し、夏期の高温環境での作業時間を確保可能なポリマーセメントモルタルです。

※公共建築工事標準仕様書6.8.5型枠締付け金物の頭処理(2)に適合しております。

特 長

- 夏期の高温環境での作業時間を確保可能なタイプです。
- 再乳化粉末樹脂配合の為、防水性があり、かつ強力な接着力を発揮します。
- 痩せの無い無収縮タイプです。

主な用途

- Pコン(丸セパ)等の穴埋め処理用モルタル
- コンクリート製品の欠け補修・ピンホール補修
- 各種一般補修等

荷姿・標準調合

荷 姿 5kg×4袋/ダンボール箱入り



標準調合

荷姿	混合割合 (Pコン補修用モルタル+水)	練上り量
5kg×1袋当り	5kg+1.1~1.2kg	約3.4~3.5ℓ
(5kg×4袋)1箱当り	20kg+4.4~4.8kg	約14ℓ

※ 使用量の目安: 本製品(5kg×4袋)1箱当りφ24/30×25mmのPコン約930箇所分

※ 一般補修として使用する場合: 混練水を調整してください(Pコン補修用モルタル5kg:水1.3~1.4kg)。

硬化時間の目安

硬化時間の目安	気温35℃	気温30℃	気温20℃
Cタイプ	30~45分	60~90分	120~180分

※ 可使時間は上記の約半分が目安です。硬化・作業時間は気温・水温などにより異なります。

施工上の注意事項

- 施工時の気温、水温、躯体や養生温度等により硬化時間が変わりますのでご注意ください。
- 5℃以下での施工は硬化不良等のおそれがあるので、施工は避けてください。
- 混練りは標準調合に準じ、計量器を用いて正確に調合し、混練不足のないようにしてください。
- 混練りしたマノールPコン補修用モルタルは、可使時間内(Cタイプ:60分/20℃)に使い切ってください。
- 製品の安全性については、SDSをご参照ください。

使用方法

1. 下地処理	下地のレイトランス処理、脆弱部の除去を完全に行ってください。
2. 下地清掃	水洗い等を行い、下地面の清掃を行ってください。
3. 吸水調整	十分な水打ちを行い、湿潤状態にしてください。又は、下記の吸水調整材をご使用ください。
4. 混練	標準割合により混練してください。(1回の練り量目安) 粉体1～5kg程度
5. 塗り付け	十分に混練したマノールPコン補修用モルタルを下地に、より密着するように、コテ圧をかける要領で塗り付けてください。
6. 仕上げ	塗り付けた材料の水引きを見計らい、金ゴテ等で平滑に仕上げてください。 (※硬化直後は削り取ることも可)
7. 養生	塗り付け後は適切な養生を行ってください。

※セパレーターに錆が発生している場合は、ケレン・清掃後、マノール防錆剤ASを塗布してください。

※欠損部などの接着力が要求される場合は、吸水調整材(アクリット(カチオン系)、ハイパーポリマーAE-45の3倍希釈液)をご使用ください。

※欠損部に使用する場合の1回塗厚は25mmを限度としてください。

※大きな欠損(300×300mm以上)や広い面積に使用の場合は弊社までお問い合わせ願います。

※Pコン・木コンの仕上げ押さえに専用鋺を使用しますと施工が簡単です。

※詳しくは別紙「Pコン(丸セバ)の穴埋め施工要領書」をご請求ください。

性能一覧

試験材令	圧縮強度 (N/mm ²)	曲げ強度 (N/mm ²)	接着力 (N/mm ²)		吸水量	吸水比
5時間	9.0	2.5	—	普通セメントモルタル	63g	—
7日	23.0	3.0	1.5	普通セメントモルタル +マノール防水剤2%	54g	0.86
28日	29.0	4.5	2.0	Pコン補修用モルタル Cタイプ	35g	0.55
試験項目	フロー値 (mm)	収縮性 (28日)	単位容積質量 (kg/ℓ)			
試験値	145 ± 25	+0.00002	1.75 ± 0.1			

- ◆ 試験条件
- 供試体作成時温度: Cタイプ(標準割合) 水/粉体比 24%
 - 強度試験: 粉体温度・水温・気温・練上り温度=20℃ ± 2℃
 - 接着力試験: JIS-R-5201
 - 吸水試験: 下地: JISコンクリート平板 水湿し 塗厚5mm
 - 収縮性(無収縮): JIS-A-1171
 - 収縮性(無収縮): JIS-A-6202

※試験結果は気温・養生方法・供試体の形状等により大きく異なる場合があります。

注意事項

取扱い上の注意

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱い時は、換気の良い場所に行ってください。
- 取扱い後は、うがい、手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後は、使用した工具類を早めに水洗いしてください。

応急処置

- **目に入った場合:** 直ちに多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- **皮膚に付着した場合:** 直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- **誤飲した場合:** 直ちに口をすすぎ、無理に吐かせず、医師の診断を受けてください。

保管上の注意

- 直射日光や湿気を避け、保管してください。

その他の注意事項

- 輸送時、落下、転倒、破損等が無いように荷崩れの防止を行ってください。
- 廃棄する場合は、都道府県条例に基づいて処理してください。
- 粉体が混合した排水は、中和、希釈等を行ってください。
- ご使用前に安全データシート(SDS)をご確認ください。

セメント混和・助材総合メーカー
 **株式会社 マノール**
<http://www.manol.co.jp/>

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

特約店